

雨活アイデアコンテスト WEBサイトの紹介

WEBサイト「ライオン 雨の恵みひろば」では、雨活アイデアコンテストについての説明や、過去の入賞作品を紹介。応募の際に参考となる「応募のヒント集」や、手順に沿って記入すると自由研究が作れる「自由研究シート」、標語の応募用紙を無料でダウンロードいただける他、水循環を学ぶのに役立つ「雨活アイデアコンテスト厳選！お役立ちリンク集」を用意しています。ぜひ、雨活アイデアコンテストへの応募の参考としてご活用ください。

くわしくは
ホームページまたは
QRコードで検索



雨の恵みひろば 🔍 検索

過去の入賞作品は
「雨の恵みひろば」から
見ることができます。



雨活アイデア
コンテスト2016
入賞作品



雨活アイデア
コンテスト2017
入賞作品

雨活アイデアコンテスト 賞の紹介

個人賞

最優秀賞

小学生の部 4 作品 中学生の部 4 作品
(賞状・記念トロフィー・図書カード3万円・キレイキレイセット)

優秀賞

小学生の部 4 作品 中学生の部 4 作品
(賞状・記念トロフィー・図書カード1万円・キレイキレイセット)

佳作

小学生の部 20 作品 中学生の部 20 作品
(賞状・図書カード2千円・キレイキレイセット)

努力賞

小学生の部 30 作品 中学生の部 30 作品
(賞状・キレイキレイ除菌ウェットシート)

団体賞

団体賞は自薦可能です。応募の際に自団体のアピールコメント
をお寄せください。

団体奨励賞

2 団体
(賞状・記念たて・書籍・キレイキレイ薬用泡ハンドソープ)

団体努力賞

3 団体
(賞状・キレイキレイ薬用泡ハンドソープ)

参加賞

応募者全員に贈呈

小学生: クリニカKid'sハミガキ
中学生: クリニカアドバンテージハミガキ
全 員: キッズニア東京・甲子園 ご優待券

ご応募いただいた先生の声

成果物の校外評価で
子どもたちのやる気につながりました。

この雨活アイデアコンテストを通じて水のありがたさや自然の大切さについて考え、気づく良いきっかけになったと思います。小学4年生では社会科と理科の授業で水について学習しますが、当たり前のようにある水も、電気や紙と同じように、大切な資源の一つとして活用できること、水道の蛇口だけでなく、雨を水資源として有効に活用する方法を楽しく学習できたと思います。子どもたちが制作した成果物を、校外でも評価いただけることが児童のやる気につながると思います。

小学校先生より

ふだん当たり前にある“雨”から
環境保全学習へ。

雨活アイデアコンテストへは、過去3回、本校の夏休みの課題として、全校生徒に案内をして応募しています。「ふだん当たり前にある“雨”について感じたことを素直な気持ちで表現しよう」というテーマで参加を呼びかけました。これまで、身近な環境保全学習に取り組んできたこともあり、水資源について考えながら作品制作を指導しています。ひとりひとりが自分に素直な気持ちで作品を仕上げてくれたのでとても嬉しく思っています。次年度もぜひ挑戦したいです。

中学校先生より

応募方法 原則として、学校・団体を通じて応募すること。(個人応募も可能です)

別紙応募チラシにある応募票を作品に貼り付けるか、次の必要事項を記入した紙を貼り付けてご応募ください。

作品部門 作品の題名 氏名(ふりがな) 小中の別、学年 学校・団体名 担当先生名(保護者名)
住所 電話番号 FAX番号 個人応募の場合「個人応募」と記載

応募チラシはWEBサイト「雨の恵みひろば」からダウンロードできます。http://www.lion.co.jp/ja/csr/social/rain/
学校応募の場合は別紙「学校・団体応募シート」をご活用ください。

応募・問合せ先 「雨活アイデアコンテスト」事務局(プラスエム内)

受付時間 10:00~18:00(土・日・祝日を除く)

〒104-0032 東京都中央区八丁堀3丁目17-6 群成舎ビル6階

TEL03-6222-5250/FAX03-6222-4823/Eメール: amekatsu@plus-m.co.jp

個人情報の 取扱いについて

●応募者の個人情報は主催・ライオン株式会社の個人情報保護方針に基づき、安全に管理し、保護に努めます。 ●応募者の個人情報は適切な方法にて管理し、応募に関する結果連絡、賞品の発送等本コンテスト実施の目的にのみ利用させていただきます。 ●上記以外の理由で個人情報の利用を行う場合には事前に本人の承諾を得ることとします。 ●運営業務を円滑に進めるために、外部事業者へ個人情報の処理を委託する場合があります。 ●応募いただく際に必要な個人情報が不足していた場合、応募は無効となります。 ●個人情報の取扱いについての詳細、苦情の申し出、開示、訂正、追加又は削除、利用又は提供の拒否の申し出等は、事務局までご連絡ください。

あめ かつ 雨活 アイデア コンテスト

指導者用応募の手引き

雨活アイデアコンテストとは

雨活アイデアコンテストは、2011年から始まった、雨水活用のアイデアを募集するコンテストです。作文、ポスター、自由研究・自由表現、標語の4つの部門からなり、小学生・中学生を対象に、“雨”を通して、水の大切さ、世界の水に関する問題、水辺の生きものや水の循環など、水に関することに興味を持ってもらうきっかけづくりとなるようなコンテストを目指しています。

この手引きの使い方

1. このテキストは、授業や夏休みの課題として雨活アイデアコンテストを活用していただくための、先生向けの参考資料です。
2. 子どもたちが雨水の有効活用について考え、また、雨について深く考察する機会を作っていただくための資料を掲載しましたので、ぜひご活用ください。
3. 雨活アイデアコンテストへの応募に際して、部門ごとに応募のコツなどを簡単ではありますがまとめております。子どもたちの作品制作等の指導の際に、ぜひ参考にさせていただければ幸いです。



指導される先生方へ

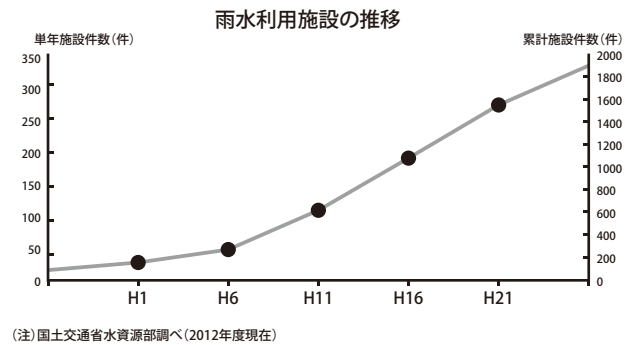
地球は水の惑星です。この星で生まれた全ての生き物は、水がなければ生きて活動を続けることはできません。水は命の源です。その貴重な水も、水の惑星地球がくれる雨水という贈り物がなければ得ることができないのです。

雨活アイデアコンテストを通して、子どもたちには興味をもった切り口から雨水の大切さや働きへの学びを深めてほしいです。さらに、子どもたちがこの取り組みの中で自らの生活を見つめ直し、地球環境のあるべき姿を考えるようになることを期待します。

雨水の活用から水の大切さを考える。

雨水活用の促進について

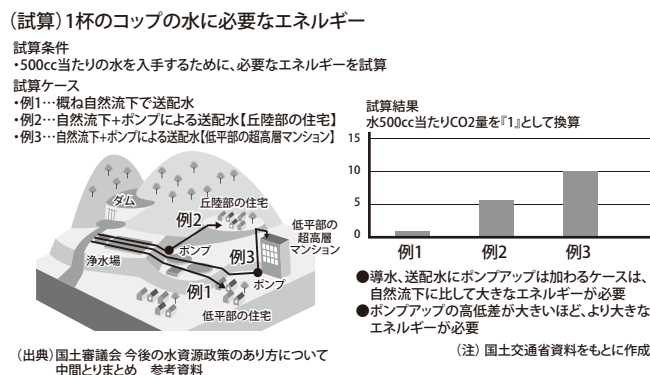
水資源の有効な活用を目的に「雨水の利用の推進に関する法律（平成26年法律第17号）が平成26年5月1日に施行されました。日本の年間降水量は約1,700mmと世界平均約810mmの2倍ほどの雨が降っています。近年は、環境意識の高まりや防災の観点から、雨水利用が増えてきていますが、雨水・再生水の年間利用量は生活用水全体の1.7%程度（平成22年末時点）にとどまっております。最も利用の多いトイレ、散水や消防、清掃、修景、冷却など更なる活用が期待されています。



環境学習としての雨活

雨活は低炭素社会の切り札

私たちが使う水道水は、浄水場からポンプによって送られ、その過程でたくさんのエネルギーが使われていますが、それだけではありません。使った水は下水道に流れる際、ポンプなどで下水処理場に送られ、たくさんのエネルギーを使って下水をきれいになっています。各家庭や商業施設が雨水を有効に活用するだけで、水道水や下水処理にかかるエネルギーが大幅に削減できると言われています。貴重な資源でもある水を大事にすることは省エネルギーという視点からとても重要です。



防災教育としての雨活

雨水を活用することは、環境保全や防災の観点からも有用であると言われています。特に、東日本大震災の経験から災害時の代替水源としての活用が進められ、緊急時の水洗トイレ用、散水用、消防用水としての活用が期待されています。

過去の雨活アイデアコンテストでも、災害用途としての雨水利用、特に緊急時の飲用としての雨水の活用をテーマにした自由研究作品が多数ありました。

雨を楽しむ 文化編

雨水の有効活用を考えると、実験や工作といったことが思い浮かびますが、それだけではありません。昔から、日本人は雨を楽しむ文化をもっていました。雨についての研究や調べ学習もひとつの雨活と言えます。温暖湿潤な日本の気候は、雨とともにいとなみを続け、雨を表現する豊かな言葉、雨に対する繊細な感性を育んできました。日本には季節に応じてつけられたさまざまな雨の名前があり、文学作品や映画、歌謡などにも雨が象徴的に登場するものがあります。文学や芸術、表現の分野でもぜひ、雨活に取り組んでみてください。

雨を表現した日本語の紹介

- おさが 御降り** 元旦または正月三箇日に降る雨や雪。御降りの年は豊作と言われる。
- さいるいう 洒落雨** 旧暦7月7日に降る雨。織姫と彦星が別れを悲しみ流す涙の雨と言われる。
- う こう 雨 香** 雨が花の香りを含んで降ること。
- しばくれ雨** ゲリラ豪雨のように突然強く振る大雨のこと。
- のぞ あめ 覗き雨** 降ったりやんだりを繰り返す雨。人が慌てるさまを覗き楽しむ雨というのが由来

雨を楽しむ 音編

雨の有効活用は水だけではなく、雨の音の有効活用も考えられます。例えば「水琴窟」と言われる日本庭園などで見られた、水の音を地下に埋めた「かめ」に反響させて、その音色を楽しむしかけがあります。これを雨水で行う仕掛けづくりは夏休みの課題にぴったりかもしれません。

他にも、雨の降り方によって変わる雨音の種類や、人間や動物に及ぼす心理効果など、音に着目することで、また違った雨の楽しみ方、有効活用の方法が見えて来るかもしれません。

雨と関連する主な教科・単元

小学校

- 理科: 身近な自然の観察、空気と水の性質、天気の様子・変化、流水の動き
- 社会科: 生活に必要な飲料水、下水と自分たちの生活とのかかわり、国土の様子、自然環境、環境保全や自然災害防止の重要性、森林資源の働き
- 家庭科: 身近な消費生活と環境

中学校

- 理科: 光と音、水と圧力、水溶液（酸性雨等）、自然環境の保全、気象とその変化（日本の天気の特徴など）、自然と人間

左記教科に限らず、国語や算数・数学、技術・家庭や音楽などの様々な教科や総合的な学習の時間等の中で雨について取り上げていただき、ぜひ、学校をあげて、雨活アイデアコンテストに取り組んでください。

応募部門の紹介

雨活アイデアコンテストは、4つの部門から成り立っており、学習成果物に応じて応募いただけるようになっています。

作文部門

雨活のアイデアを作文として表現した作品のほか、雨の思い出や、雨について考えたこと。雨がテーマの物語まで、雨を扱った作文であれば応募の対象となります。

過去の入賞作品

小学生部門では、おじいちゃんがつくった雨水タンクについての思い出をつづった作品が入賞しています。また、中学生部門では、近未来に雨水がどのように活用されているかを物語風にまとめた作品がありました。斬新なアイデアだけでなく、雨について自由な視点で雨の表現をご指導ください。

ポスター部門

雨を有効に活用するアイデアの楽しさや面白さが伝わることが評価のポイントとなります。画材や表現方法は自由ですが、ポスターとして、文字の使用が必須となります。

過去の入賞作品

小学生部門では、雨がふると、どんどん楽しくなる遊園地を表現した作品が入賞しました。クレヨンや水彩絵の具など、画材を使い分けた点も評価されました。中学生部門では、京都の町並みを水彩で表現し、貯めた雨水を打ち水として活用する作品が、落ちついた雰囲気と細かい描写を評価され入賞しています。

自由研究・自由表現部門

自由研究は雨がテーマなら、なんでも応募可能です。雨に関する疑問を実験や観察などを通じてレポートにまとめてください。また、自由表現は、イラストやマンガなど、雨の活用を自由に表現したものをご応募ください。

過去の入賞作品

小学生部門では、雨の音が計算力にどの位影響を与えるか、実験をして確かめた研究が高く評価されました。また、中学生部門は、雨をいかに効率良く集め、洗濯など普段の生活に生かすことができるのか、様々な実験で確かめた作品が評価されました。小・中学生ともに、あらゆる視点で実験や研究をして、まとめた作品が入賞しています。

標語部門

自由な発想で、雨の有効利用をテーマに、沢山の人たちに、短い文章（五七調）で雨活や、雨水の有効活用の重要性を伝えることができる標語を募集します。

過去の入賞作品

これまでの作品を見てみると、雨つづきを宝石、雨音を演奏会として表現した作品や、雨水を使うと気持ちは晴れ模様といった、ひねりをきかせたものが評価されています。雨を楽しく、そして貴重な水資源であることを、少しひねった言葉の組み合わせで表現する作品が評価されています。